

初めての米作り

中部小学校 六年

金山 心菜

みなさん、お米好きですか。毎日の食料に並んでいいるお米。みなさんは、どのような工程でお米ができるのか知っていますか。私の家は、農家ではありません。だから、どのようなにしてお米ができていくのかわかりません。

私が五年生の時に、学校の行事で初めて、米作りの体験しました。これまで経験

したことがなかったのですが、とても興味がありました。地域の田んぼの先生に指導をしていただきながら、苗を植え、いきました。水の張った田んぼの中に足を入れた瞬間。思わず、叫んでしまいました。今までに、感じたことのない感触でした。田んぼの中では、足を動かすことも大変で、何度も転びそうになり、苗を植えることはとても難しかったです。苗を植え終った田んぼを見て、こんな小さな苗がいつか食べられているお米になるのかと不思議に思いました。

た。秋には、育った稲を刈る作業をしました。  
あのように小さかった苗が、こんなにも大き  
く成長し、お米ができていて、そして、お米  
の重さで稲がたれていているのを見て、かありい  
な<sup>あ</sup>と思いました。とてもりやせえた気持ち  
になりました。そして、いよいよ、稲刈り。  
かまを持って刈る時になりました。稲は、と  
てもかたく刈る時には、サワツとりうりい音  
がしたことを覚えていきます。あの時に聞いた  
音は、とても気持ちがよく最高でした。中腰

での稲刈は、とても大変で少しの間  
かりなりのに腰が痛くなったことを思い出  
しました。この中腰の状態をずとして稲刈り  
をすることを考えると、私にはむりかなと思  
てしまいます。

私たちが刈った稲、お米は、私たちの日々  
たべる給食の材料に使われます。それを考え  
ると、しんびかったです。大変だった作業もやっ  
てよかったですと思いました。

私が、体験した「米作り」は、ほんの少し

の期間でしたが、農家の方は、一年間を通して「米作り」をしていきます。農家の方たちはどのような思いで「米作り」をしたのが考えられました。私は、食事の時、お母さんに、「お茶碗についたお米は残さず、きねりたべなさいね。」と言われます。この言葉に対してあまり気にせず食べていました。しかし、五年生の「米作り」体験をしてお米を作る大変さ、苦勞などを考えると、一粒一粒大切に、農家の方たちの思いをし、かり考えながら感謝の気持ちをもって食べたり大切にしたりなど改めて感じました。私が体験して感じたことを、いろいろな人に伝えていきたいと思います。

みなさんも「米作り」体験してみませんか。